

財団法人テレコムエンジニアリングセンター
公益的研究集会助成

成果報告書

研究集会名

電気・電子機器のEMCワークショップ

助成期間

平成23年度～平成25年度

提出期日

平成26年4月

研究代表者氏名

多氣 昌生

所属機関・職名

電子情報通信学会 環境電磁工学研究専門委員会 委員長

(首都大学東京 教授)

研究集会名	電気・電子機器のEMCワークショップ	
期日・場所	第23回:平成23年11月10日～11日、第24回:平成24年11月1日～2日、第25回:平成25年11月7日～8日 開催場所:ホテル双葉(新潟県)	
主催	電子情報通信学会 環境電磁工学研究専門委員会	
代表者	多氣 昌生	印
勤務先	機関名	首都大学東京 大学院理工学研究科 電気電子工学専攻
	住所	東京都八王子市南大沢 1-1
助成期間	平成23年度 ～ 平成25年度	
助成金額		

研究集会概要 (機関誌「TELEC ニュース」に掲載しますので、平易でかつ簡潔に記載願います。説明文 500 字以内、かつ写真又は図表1枚付)

電気・電子機器の EMC ワークショップは、電子情報通信学会環境電磁工学研究専門委員会の第二種研究会活動の一環として毎年1回開催しており、今回の助成期間内では第23回から第25回の3回を開催した。

毎回、産・学・官から、EMC 分野の第一線で活躍されている講師を招き、その時々において EMC 関係者が最も関心のあるテーマを設定し、関係する行政の動向、産学における研究開発動向や直面している課題、国際標準化の動向などについて講演を行った。また、通常の質疑に加えてパネルディスカッションも開催し、参加者と講演者によって活発な議論が行われた。なお、各回の主テーマは以下のとおり。

- ・第23回 スマートソサイエティ時代の EMC
- ・第24回 EMC の最新動向と展望
- ・第25回 無線電力伝送の EMC とサステナブルな EMCJ を目指して

多数の EMC 関係者が一堂に会し、講演及びパネルディスカッションにおいて活発な技術討論、意見交換、情報共有などを行うとともに、懇親会を通じて職種や年齢を超えて親睦を深めた。これにより、ベテランから若手への技術継承が促進されるなど、我が国の EMC 分野の発展に大きく貢献した。



第25回電気・電子機器のEMCワークショップ開催風景

研究集会の詳細

研究集会名 : 電気・電子機器のEMCワークショップ	
期日・場所	第23回:平成23年11月10日~11日、第24回:平成24年11月1日~2日、第25回:平成25年11月7日~8日 開催場所:ホテル双葉(新潟県)
主催	電子情報通信学会 環境電磁工学研究専門委員会
研究集会の目的・意義 電気・電子機器の EMC ワークショップは、我が国における EMC 分野の活性化を目的に、官公庁、大学、企業の研究者や技術者など、EMC 分野に携わる方々が一堂に会し、最新のトピックスや今後の展望などに関して、活発な技術討論・意見交換などを行うために開催されている。	
研究集会概要: 電気・電子機器の EMC ワークショップは、電子情報通信学会環境電磁工学研究専門委員会の第二種研究会活動の一環として毎年1回開催しており、今回の助成期間内では第23回から第25回の3回を開催した。 毎回、産・学・官から、EMC分野の第一線で活躍されている講師を招き、その時々においてEMC関係者が最も関心のあるテーマを設定し、関係する行政の動向、産学における研究開発動向や直面している課題、国際標準化の動向などについて講演を行った。また、通常の質疑に加えてパネルディスカッションも開催し、参加者と講演者によって活発な議論が行われた。 第23回ワークショップでは、“スマートソサイエティ時代の EMC”と題して、スマートグリッドやスマートシティの観点から、EMC問題や対策等について講演・議論を行った。 第24回ワークショップでは、“EMCの最新動向と展望”と題して、放電から無線までEMC全般に関して最新動向と今後の展望について講演・議論を行った。 第25回ワークショップでは、“無線電力伝送の EMC とサステナブルな EMCJ を目指して”と題して、無線電力伝送に特化したEMC問題に関する講演・議論を行うとともに、パネルディスカッションを通じてベテランから若手への技術継承や、今後の EMC 分野発展に向けた問題意識の共有等を図った。 いずれの回においても、多数の EMC 関係者が一堂に会し、講演及びパネルディスカッションにおいて活発な技術討論、意見交換、情報共有などを行うとともに、懇親会を通じて職種や年齢を超えて親睦を深めた。これにより、ベテランから若手への技術継承が促進されるなど、我が国の EMC 分野の発展に大きく貢献した。	
参加者数(主な国別等)と発表論文数: 第23回 67名参加 11件発表 第24回 64名参加 11件発表 第25回 51名参加 6件発表及びパネルディスカッション	

研究集会の成果

産・学・官から多数の EMC 関係者が一堂に会し、研究開発や現場で直面している課題、国際標準化の動向などについて、活発な技術討論、意見交換、情報共有などを行うとともに、懇親会を通じて職種や年齢を超えて親睦を深めた。これにより、ベテランから若手への技術継承が促進されるなど、我が国の EMC 分野の発展に大きく貢献した。